



2014年度  
スローガン

すべては人と地域と未来のために

2014年度 外報紙



九月一三日(日)に長野篠ノ井ライオンズクラブと共催で篠ノ井市民会館にて「第六回ふれあい音楽祭」を開催いたしました。

ふれあい音楽祭は、心や身体に障がいをお持ちの方によるステイジ発表、そして施設の方による食品や製作品の販売をする事業です。長野市、須坂市、中野市の皆様にご参加いただきました。

第一部のステージ発表では五施設の皆様に出演して頂きました。誰もが知っているメロディや、自然と体が動いてしまうようなテンポの良い曲など、元気がいっぱい演奏が行われました。途中からは我々南長野青年会議所メンバーも飛び入り参加。皆様と一緒にステージを楽しませて頂き、大いに盛り上がりました。

第二部は、諏訪壺太

## 9月例会 9月13日(日) 篠ノ井市民会館 第6回ふれあい音楽祭

企画担当 ■ 国際交流委員会

鼓連様の演奏でした。耳の不自由な方とボランティアが集まって結成された諏訪壺太鼓連。腹に響く振動、そしてからだ全体を使っ

た大きな動きは、ハンデキャップを全く感じさせない素晴らしい演奏でした。演奏だけではなく、会場の皆様も巻き込んで「ポディパーカッション」をして頂き、とても楽しい雰囲気でした。

ロビーでは七施設の方たちによるブース出店がありました。手作パンなどの食品をはじめ、野菜あり、手工芸品ありと、来場者の方たちにはステージ発表だけでなくお買い物も楽しんで頂きました。

例年、来場者を増やすことが大きな課題でしたが、今年は広報から長野篠ノ井ライオンズクラブ様にご協力頂き、参加施設以外の方の来場が増えました。毎年事業が終わって感じることは、それは大きな会場で発表して頂き、その達成感を味わって頂く目的の事業ですが、実際に元気を



もらっているのはいつも我々の方です。今後、この音楽祭が地域の恒例事業となることを願っております。

最後に今回の音楽祭を開催するにあたり、ご協力頂きました関係者の皆様、そして当日来場して頂き、一緒に会場を盛り上げてくださった皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

### 委員長所感

高橋 淳

昨年まで五年連続開催の「ふれあい音楽祭」。毎年運営する我々が、出演者の皆様に元気を頂いております。

ようやく秋の恒例行事となりつつあるこの事業をこの先継続していく為に、外部の方が主となって開催して頂く道筋を計画をいたしました。しかし色々な団体の方に相談させて頂きましたが、前向きなお話はできませんでした。そんな時に長野篠ノ井ライオンズクラブ様がこの事業を評価して下さいましたとお聞き、その後トントン拍子に共催することになりました。そして「第六回ふれあい音楽祭」は例年以上に盛り上がり今年もたくさんの方の元気を頂きました。

「ふれあい音楽祭」に携わることににより、自分たちのまちにある障がいをお持ちの方が働く施設のことを知り、身近に感じることが出来ます。この事業が継続することで、この気持ちをもっと地域に伝播していくのではないのでしょうか。

我々が主となって開催させて頂くことは今年で最後かもしれませんが、この経験で学ばせて頂いたことを生かし、これからも「明るい豊かな社会の実現」のために活動して参りたいと思います。ありがとうございました。



## 10月例会 10月4日(土) 長野市立篠ノ井体育館 2014 準会員プレゼンツ 「親睦と絆の輪をひろげよう」

企画担当 ■ 会員開発委員会

一〇月四日(土)に会員開発委員会準会員の企画で長野市立篠ノ井体育館にて、会員間のレクリエーション企画として、一〇月例会「二〇一四準会員プレゼンツ」【親睦と絆の輪をひろげよう】を開催いたしました。

### 副委員長所感

須田 恭徳

準会員企画によるスポーツレクリエーションとして4つのチームに分かれて、ソフトバレーや大縄跳び、バスケットボールなどの種目を用意し、会員間同士、体を動かす交流が出来ました。成績の高

副委員長所感  
今例会は、準会員が企画・運営するという例会でした。私自身、まだ入会一年目の副委員長という事もあり、正直不安でいっぱいでした。準会員五名を含めた委員会でどんな例会にするかを話し合いました。自分の経験からなかなか意見が出づらいかと思いましたが、今年度の準会員は自分の想いをしっかりと持ったメンバーが集まっており、こちらが驚くくらい活発な委員会となりました。

準会員メンバーの想いは「早く南長野青年会議所に溶け込みたい」でした。その手段として、スポーツを通じて準会員メンバーの自己アピールとメンバーの親睦を目的とした例会となりました。

例会では、準会員が全員三分間スピーチを行ったり、チームのキャプテンとしてメンバーを鼓舞してありました。その中で私が何よりも嬉しかったのは、多くのメンバーにご参加頂いた事、参加したメンバーが本当に楽しそうにプレーして頂いた事です。私だけではなく、準会員も参加メンバーに感謝しております。是非来年も多くの新しい準会員を迎え入れて準会員が企画運営する事業をしていただきたいと願っています。



2014年度  
会員開発委員会  
副委員長  
須田 恭徳



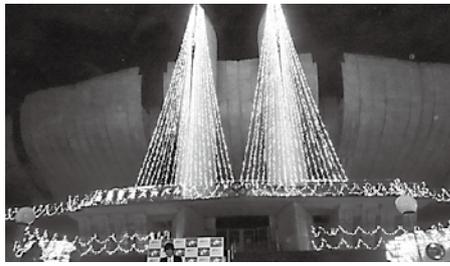
11月例会

11月29日(土) 南長野運動公園

南長野フェスティバル 2014

企画担当 ■ 社会開発委員会

十一月二十九日(土)に南長野運動公園にて社会開発委員会主催の十一月例会「南長野フェスティバル2014」を開催いたしました。



本例会は今年で七回目を迎え、イルミネーションの装飾ではAC長野パルセイロ・サポーター、長野南高等学校、長野俊英高等学校、松代高等学校の皆さんがボランティアとして五〇名を超える参加がありました。点灯式の時には、篠ノ井スマイルズ、昭和小学校金管バンド、長野クリスタルバトン、篠ノ井西小学校和太鼓クラブの皆さんの出演で盛り上げていただきました。点灯式では篠ノ井地区観光振興協議会の渡邊会長、AC長野パルセイロの



土橋アンバサダーにも来賓として出席頂き、多くの方が来園しました。また点灯式ではサプライズ演出として、土橋様の誕生日を来場者全員でお祝いすることが出来、土橋様からも「忘れられない誕生日でした」とコメントを頂きました。



来年は改装中のサッカースタジアムも完成し、南長野運動公園はより注目されます。次回の開催については未定ですが、さらに工夫された南長野フェスティバルを期待しています。



副委員長所感

海江田 勝由

例年だと食の合戦に絡めて集客をおこないますが、今回は一緒に行事をやめ、(公社)南長野青年会議所だけで開催する事になり集客に不安が残る中、準備を開始しました。

中島委員長率いる社会開発委員会が一番力を入れた事は、ボランティアに沢山の高校生に来て頂き、飾りつけ作業を合同で行う事、AC長野パルセイロサポーター連盟の方にご協力頂く事、沢山の方にご来場頂く事でした。

例年はトンネルを作りますが今年は止め、気まぐれロードを作成しました。他にも天の川(ミルキウエイ)も作りました。締めくくりはAC長野パルセイロ土橋アンバサダーへのサプライズとしてハッピーバースデイソングを昭和小学校金管バンドの皆さんに演奏して頂き、会場のみならず大合唱ができた、最後はカウントダウンで点灯開始をする事ができました。集客の不安、初めての議案書作成と運営を副理事長と委員長にまかされた事は自分にとって大きな成長過程となり本当に良かった事です。

しかし、本当にすべてが不安で、自分自身戸惑っていてLOMMメンバーと社会開発委員会の皆さんに多大なる迷惑おかけした事は、この場を借りてお詫びを申し上げます。

イルミネーションの点灯期間は十二月二五日(休)まで行われ、地域の皆さんに綺麗なイルミネーションを見て頂く事が出来ました。

皆様の協力により無事南長野フェスティバル2014を成功に導けた事に感謝致します。本当にありがとうございました。



2014年度 社会開発委員会 副委員長 海江田 勝由

委員会事業

11月16日(日) もんぜんぶら座 地下一階

「おお！地球人ワールドフェスタIN長野2014」ブース出展

企画担当 ■ 国際交流委員会

十一月十六日(日)に、もんぜんぶら座地下一階にて国際交流委員会事業として「おお！地球人ワールドフェスタIN長野2014」にブース出展を致しました。

ブース出展内容として当会議所と姉妹締結しておりますJCI KOREA西大邱との三〇年に渡る交流紹介や当会議所の活動内容を展示し、そしてキムチチ



ヂミの振る舞いを行いました。特にキムチチヂミの振る舞いは多くの方に韓国風の味を食していただき大盛況でありました。

副委員長所感

荒井 聡

本年度初めて「おお！地球人ワールドフェスタIN長野2014」にブース出展として参加をさせて頂きました。西大邱青年会議所との三〇年を超える交流は、残念ながらこれまで外部の方々に対して積極的な発信はあまり行われておりませんが、ワールドフェスタへの参加は外部への発信手段の一つとなるのではないのでしょうか。

また、来場された方にまず興味を持って頂くことを考え行いました。キムチチヂミの振舞いは予想以上の手応えで、開場間もなくから終盤に至るまで多くの方に越え頂きました。焼き上がりまでお待ち頂けた事、焼き上がりまでお待ち頂けた事、「おいしい。」といった感想を頂いた事は大きな喜びでした。

最後に、青年会議所に入会して初めて議案を作成し、事業に臨んだ事で様々な経験をさせて頂く事ができました。今後はこの経験を活かして「明るい豊かな社会」の実現に向けて頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。



2014年度 国際交流委員会 副委員長 荒井 聡

# 第三回通常総会

12月16日(火) サトウ会館  
担当 ■ 総務広報委員会

二月一六日(火)、サトウ会館にて(公社)南長野青年会議所の第三回通常総会を開催いたしました。

総会議事では次年度案件も含めて全ての議案が全会一致により承認され、その後は各役員

## 事務局長所感

窪沢 裕

第三回通常総会は、次年度の方針を決定する上で非常に重要な総会です。厳かな雰囲気の中で、次年度事業計画並びに収支予算が承認され、また、バッジおよびプレゼンシャルリースの承認が肅然と執り行われました。何より次年度へと南長野青年会議所の熱い想いとかがり火の精神を繋ぐことができたことは、総会運営側として万感の思いであります。

本年は、いつも穏やかな長野県下において噴火や地震が相次ぎ、いろいろなことを考えさせられる一年となりましたが、次年度計画より、ACC長野パルセイロホームスタジオの完成、北陸新幹線の延伸、善光寺御開帳など、南長野のためにこの契機を生かさなければならぬ非常に重要な一年であると思えます。

今年度最後の総会を無事に終了でき、安堵の気持ちと達成感で満ちております。このような機会をいただいた田村理事長に感謝の意を表し、事務局長ならびに副委員長所感とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。



12月例会 12月16日(火) サトウ会館

# 第53期生卒業式

企画担当 ■ 総務広報委員会

二月一六日(火)に第三回通常総会に続き、サトウ会館にて二月例会「第53期生卒業式」共に感じよう、南長野の心」を開催いたしました。

本年度は久保田俊行君、小林俊之君、小林雅希君、杉山秀弥君、須田恭徳君、宮下嘉文君、渡邊英祐君、綿貫昌夫君、以上八名が卒業となります。セレモニーに引き続き執り行われた活動記録映像の上映、そして卒業証書授与・記念品贈呈では厳かな雰囲気の中、田村理事長より一人ひとりに手渡されました。その後小山監事の乾杯の発声で歓談が始まり、メンバーが卒業生と対話し労をねぎらい、余興では全メンバーが卒業生を大いに盛り上げました。

## 卒業生の皆さん、JC生活お疲れ様でした

二月一六日(火)に第三回通常総会に続き、サトウ会館にて二月例会「第53期生卒業式」共に感じよう、南長野の心」を開催いたしました。

本年度は久保田俊行君、小林俊之君、小林雅希君、杉山秀弥君、須田恭徳君、宮下嘉文君、渡邊英祐君、綿貫昌夫君、以上八名が卒業となります。セレモニーに引き続き執り行われた活動記録映像の上映、そして卒業証書授与・記念品贈呈では厳かな雰囲気の中、田村理事長より一人ひとりに手渡されました。その後小山監事の乾杯の発声で歓談が始まり、メンバーが卒業生と対話し労をねぎらい、余興では全メンバーが卒業生を大いに盛り上げました。



最後、卒業生スピーチでは、自身の活動・当LOMへの思い・残るメンバーへメッセージを語って頂き、会場は涙で包まれました。

第53期卒業生の皆様、今日まで大変お疲れ様でございました。そして、ご卒業誠におめでとうございます。

## 委員長所感

小林 敏明

第三回通常総会に引き続きの担当例会となりました。今例会のタイトルにつけて頂き「共に感じよう、南長野の心」をテーマとし、メンバー一人ひとりが卒業生と対話し頂くことで、また、卒業式と言う独特の雰囲気を感じることが出来るのではないかと考えました。

卒業証書授与・記念品贈呈では厳かな雰囲気の中、感動的な出来事もございました。歓談中の余興では、当委員会メンバーが先頭に立って空気を作り、文字通り(公社)南長野青年会議所が一つになって大変盛り上がりました。最後となりました卒業生スピーチでは、花束贈呈者からの贈る言葉、卒業生自身が感じていたことを残るメンバーに心のこもった自分の言葉で解りやすく語って頂き、会場内も私も涙が溢れましたが、今後の活動に生かして行こうと改めて決意する切っ掛けとなりました。

開催に至るまで様々なことがあり、多くの皆様にご迷惑とご心配をお掛けしてしまいましたが、閉会後に卒業生の皆様より「良かったよ」「ありがと。」「とお言葉を掛けて頂き、心より嬉しく感じました。今例会を作り上げた全てのメンバーに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりますが、第53期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。



# 第45回 長野ブロック大会 IN科野

9月15日(月) 千曲市更埴文化会館(あんずホール)

九月一五日(祝月)に千曲市の更埴文化会館(あんずホール)にて第四五回長野ブロック大会IN科野が開催されました。当LOMからは出向者を含め総勢二十七名にて参加させていただきました。



ブロック出向者にとっ  
ては一年間の集大成であ  
りますブロック大会です  
が、南長野の出向者八名  
全員が各ファンクシオン  
にて活躍しております  
に。また記念式典の後に  
継承式(卒業式)がござ  
いました。今年度の卒  
業生が登壇している中  
に盛り上げが足りなかつ  
たので、全国大会やLO  
Mの卒業式ではもっと盛  
り上げてまいります。  
最後にブロック出向者  
の皆様本当にお疲れ様で  
した。



# 第63回 全国大会松山大会

10月10日(金)~12日(日) 愛媛県松山市

一〇月一〇日(金)~一二日(日)まで第六十三回全国大会松山大会に総勢一七名のメンバーにて参加してまいりました。先発隊と後発隊に別れて松山の地まで行って参りました。

一〇日(金)は田村理事長が第一四六回総会に出席し、一一日(土)午前中まで、参加者がそれぞれセミナーに出席して参りました。一三時頃、バスにて出発した後発隊と合流し松山城を観光し、夕方より松山市内の「なの花」にてLOMナイトを開催しました。



一二日(日)午前中は全国大会式典・卒業式が松山城内にある堀之内公園内で行われました。台風一九号の影響が危ぶまれましたが、奇跡的に雨が降らず開催されました。そして卒業生参加者六名を無事見送ることができました。  
卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。



# 二〇一四年度御礼

理事長 田村 嘉邦

二月一六日の第三回通常総会において、無事プレジデントシャルリスの継承を終え、二〇一四年度の私の役目もあと残すところ僅かとなりました。

本年は「すべては人と地域と未来のために」というスローガンを掲げさせていただき、すべての活動が人と共に地域と共に、そして、未来へと繋がっていく事を活動の根幹とし、このことを心掛け事業をメンバーに構築してもらい一年間活動してきました。おかげさまですべての事業を一つがたく展開することができました。

一年間を通して、地域の人と共に様々なことにチャレンジさせていただきました。このご縁を通じて今後も人に、地域に、未来に繋がりが広がっていくことが大切であり、これからも今以上に、この青年会議所にも負けないくらい地域に近い南長野青年会議所ではなくてはならない、そう確信した一年でもありました。

二〇一五年度は善光寺御開帳、長野新幹線北陸延伸、南長野運動公園総合競技スタジアム竣工などの地元地域が公共インフラの整備事業と共に大きな転換の時期を迎えます。この転換の時期を契機に米山理事長のもと、新たな飛躍の年を邁進していくことを約束し、今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。二〇一四年度かがり火最終号にあたりましての御礼とさせていただきます。一年間ご支援賜りましたありがとうございます。



理事長 田村嘉邦

## 編集後記

二〇一四年度の世相を表す漢字に「税」という文字が書かれました。今年、消費税が五%から八%まで引き上げられ、また、二月には更なる増税に関連する衆議院議員の解散総選挙が行われ、結果自公圧勝で安倍政権が続投し、これから世の中がどのようなようになっていくのか期待と不安が交錯する社会情勢となります。

そんな中、(公)南長野青年会議所の二〇一四年度の事業も滞りなく全て終了し、田村丸の航海が終りを向かえることが出来ました。また同時に、新たに二〇一五年度へ向けて米山丸の出航の準備が整いました。

来年度も(公)南長野青年会議所事業の更なる発展に期待して、二〇一四年度の外報紙「かがり火」の結びと致します。

一年間ありがとうございました。  
専務理事 下城 聖一郎

**会員募集!!** 南長野青年会議所は、新しい仲間を募集しております!  
**今しか会えない仲間がいる。今しかできないことがある。**

お問い合わせ先 (公社)南長野青年会議所事務局 ☎026-292-2310



公益社団法人 南長野青年会議所  
〒388-8007 長野県長野市篠ノ井布施高田895-1  
TEL: 026-292-2310 FAX: 026-293-5709  
E-mail: minaminaganojc@mtg.biglobe.ne.jp

発行元: 総務広報委員会 編集長: 小林 雅希  
印刷所: 有限会社サクセス

ホームページ更新中!  
是非ご覧下さい!!  
南長野青年会議所 検索